令和７年度
岡山三川水害タイムライン検討会説明資料
～出水期に向けて～

検討会の目的

■ 本検討会では、令和７年度の出水期における**タイムラインを有効活用した円滑な出水対応に向けて**、タイムライン構成機関の顔合わせ、タイムラインの概要や運用方法、留意点等の確認を行う。

検討会のスケジュール

時間	検討会の内容
13：15～13：20	1．開会
13：20～13：40	2．タイムラインの概要説明 ✓ タイムラインの概要（導入編） ✓ タイムラインの運用・活用方法（活用編） ✓ ポータルサイトの説明
13：40～14：00	3．令和６年度の運用結果と改善状況 ✓ 令和６年度の運用結果と出水状況 ✓ 令和６年度のタイムライン改善状況
14：00～14：30	4．令和７年度出水期の運用に向けて ✓ 連携行動フローに基づく情報共有の重要性の確認 ✓ タイムラインの運用上の留意点と対応
14：30～14：35	5．連絡事項 ✓ ウェビナーの開催 ✓ 今後の予定
14：35～14：40	6．講評
14：40～14：45	7．閉会

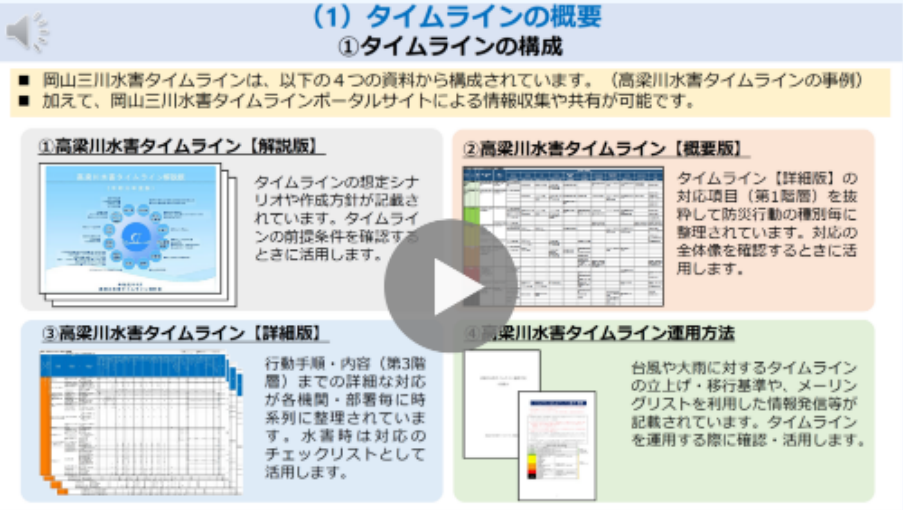
2. タイムラインの概要説明

（１）タイムラインの概要

タイムライン解説動画【導入編】

新任の方がタイムラインについて理解していただく場面や、出水期前にタイムラインの概要や目的を確認する場面で活用できます。

- **タイムラインの概要・目的**
- **タイムラインが想定する被害、タイムラインにおける各機関の役割**



https://www.youtube.com/watch?v=pFvwzD3BmXs

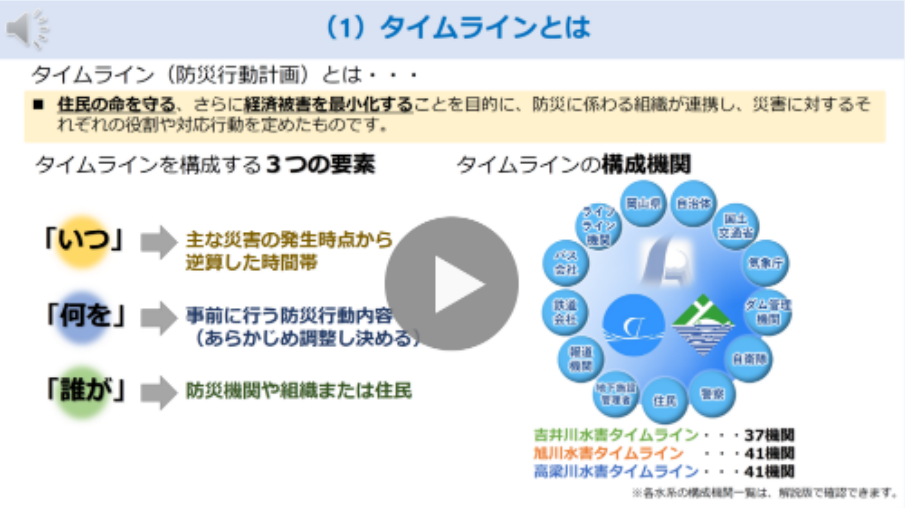
※タイムライン解説動画を基に説明

（2）タイムラインの運用・活用方法

タイムライン解説動画【活用編】

出水期前やタイムライン発動時にタイムラインの運用方法を確認して頂く場面でご活用いただけます。

- **タイムラインの運用方法**
- **タイムラインの活用方法、タイムラインの習熟に向けて**



https://www.youtube.com/watch?v=kjaMBf-N1gU

※タイムライン解説動画を基に説明

（３）ポータルサイトの説明

https://bousaikoudou.jpn.org/okayama_portal/

※ポータルサイトの各画面を表示しながら説明

３．令和６年度の運用結果と改善状況

（１）令和６年度の運用結果と出水状況

①令和6年度における
タイムラインの運用状況

■ 吉井川・旭川・高梁川水害タイムラインは、令和6年度に計8回発動した。

令和6年度におけるタイムラインの運用状況

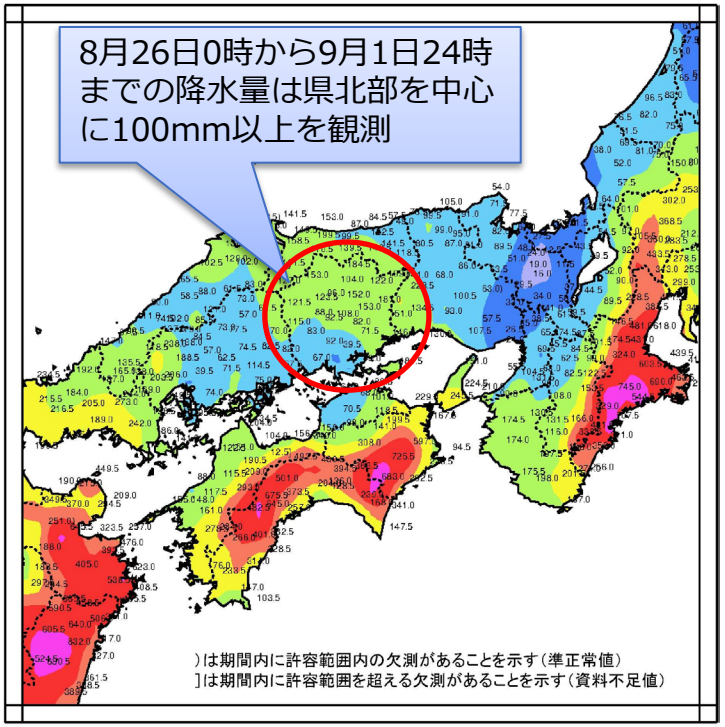
	発動期間	要因	レベル※
1	5.28～5.29	前線による大雨（早期注意情報）	1
2	6.17～6.18	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
3	6.21～6.24	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
4	6.27～7.2	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
5	7.10～7.17	前線による大雨（早期注意情報）	0－2
6	8.23～9.2	台風第10号の接近	0－1
7	9.20～9.24	前線による大雨（早期注意情報）	0－1
8	11.1～11.5	台風第21号の影響による大雨	0－2

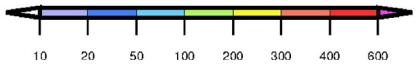
※事務局からのタイムラインレベルの発信に限定

②台風第10号：出水概要

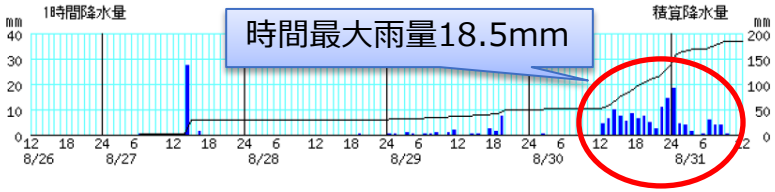
■ 岡山県では、8月30日夜から31日未明にかけて台風第10号が接近し、鏡野町雨量観測所（富）では、時間最大雨量18.5mmのやや強い雨を観測した。

○アメダス期間降水量（8月26日00時～9月1日24時）



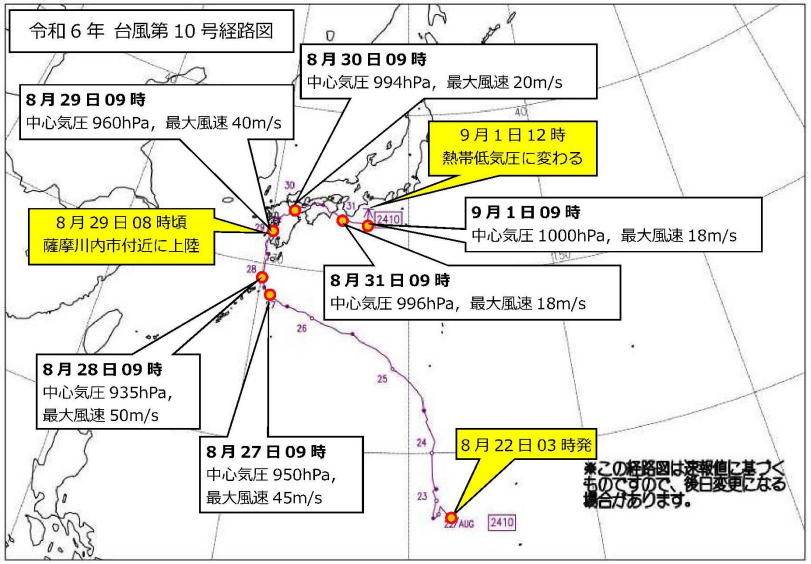


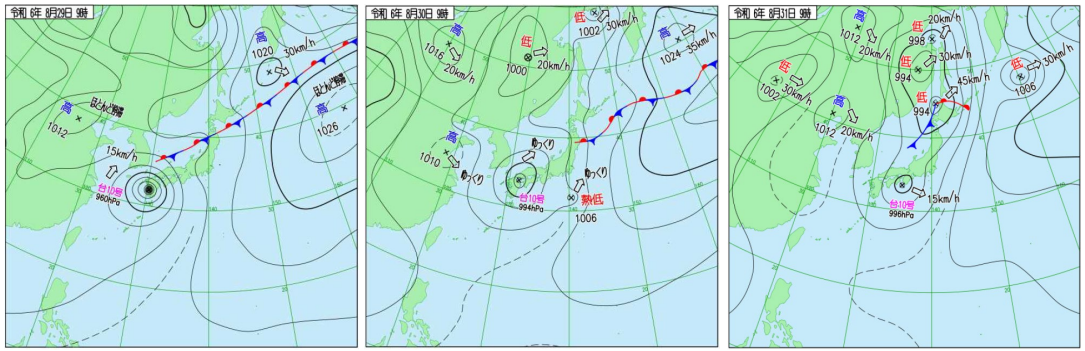
富（66112）　2024年8月26日12時～2024年8月31日12時



1. 気象状況

（1）台風経路図・台風位置表





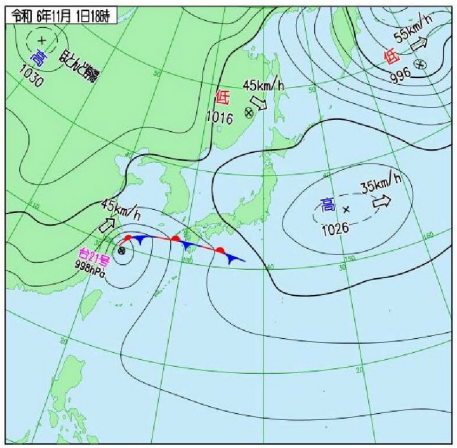
出典：令和6年台風第10号による大雨、暴風及び突風（気象庁）
令和6年8月26日から9月1日にかけての台風第10号による大雨について（大阪管区気象台）

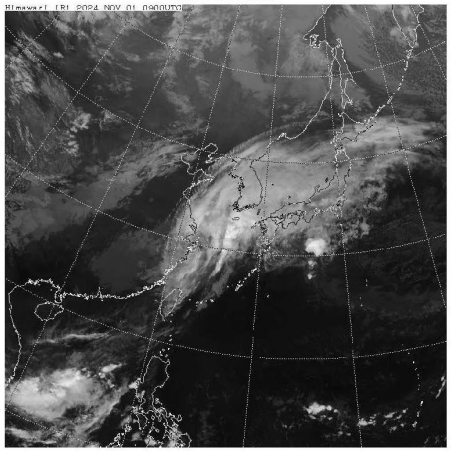
③11月1日からの大雨：出水概要

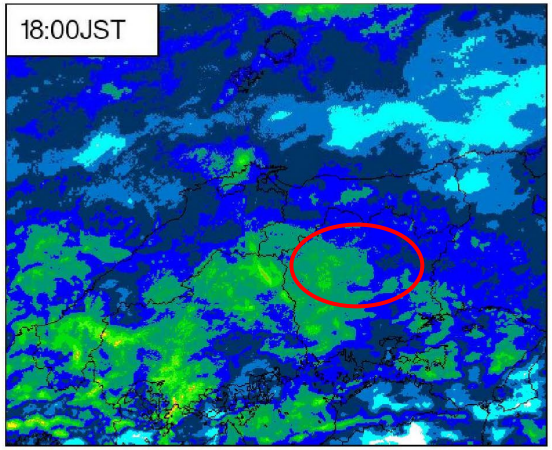
■ 11月1日から2日までの大雨では、西日本に停滞する前線上を台風第21号から変わった低気圧が進んだことにより、中国地方では、非出水期にもかかわらず200mm/24時間（1日12時から2日12時）を超える大雨となった。

地上天気図　　気象衛星赤外画像　　レーダー画像

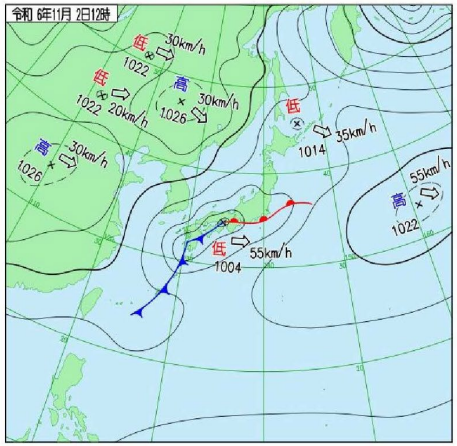
11月1日18時

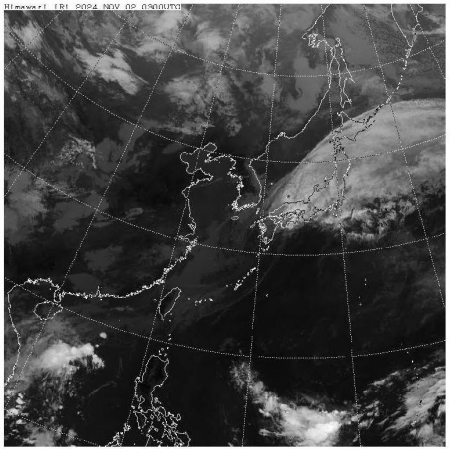


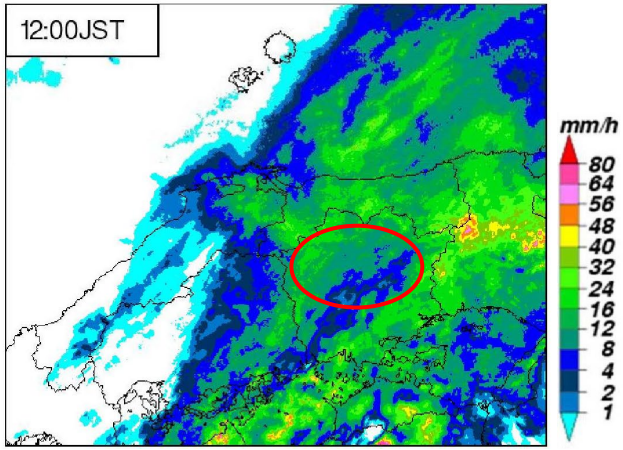




11月2日12時





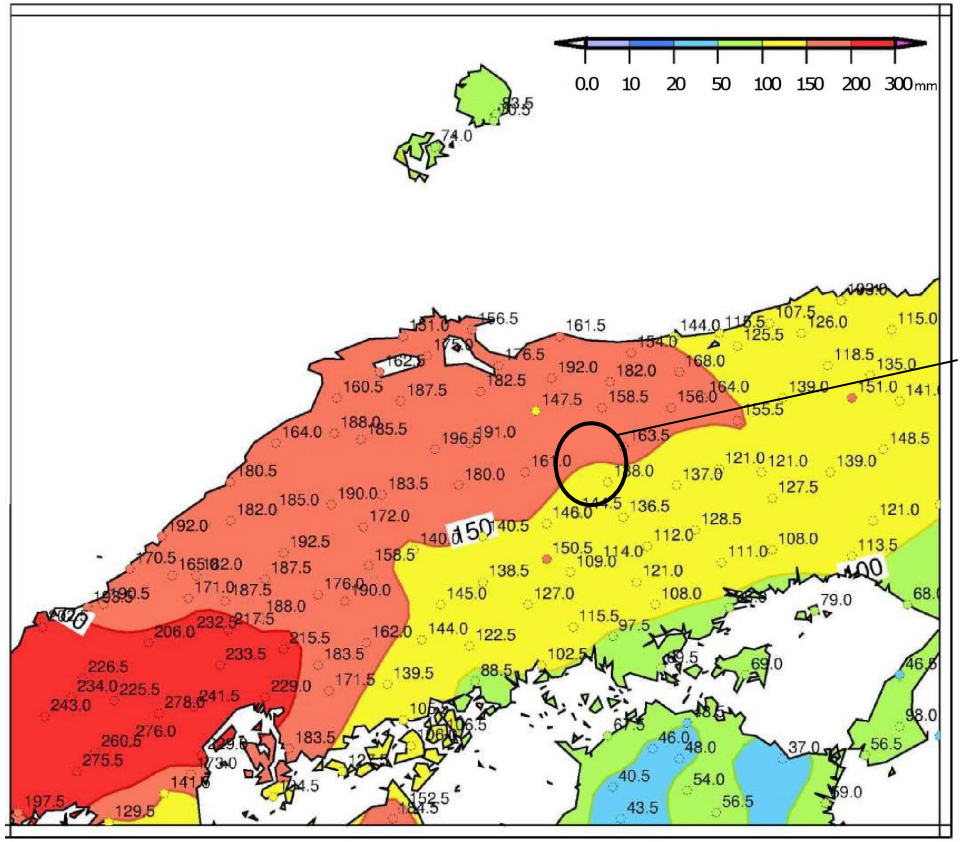


出典：令和6年11月1日から2日にかけての前線と低気圧による大雨について（広島地方気象台）

③11月1日からの大雨：出水概要

■ 11月1日から2日までの総降水量は、富（鏡野町）で169.5mmを観測し、時間最大雨量15.5mmのやや強い雨を観測した。

○アメダス期間降水量（11月1日08時～11月2日15時）



出典：令和6年11月1日から2日にかけての前線と低気圧による大雨について（広島地方気象台）
令和6年11月1日から11月2日にかけての前線や低気圧による大雨について（大阪管区気象台）

③11月1日からの大雨：出水概要

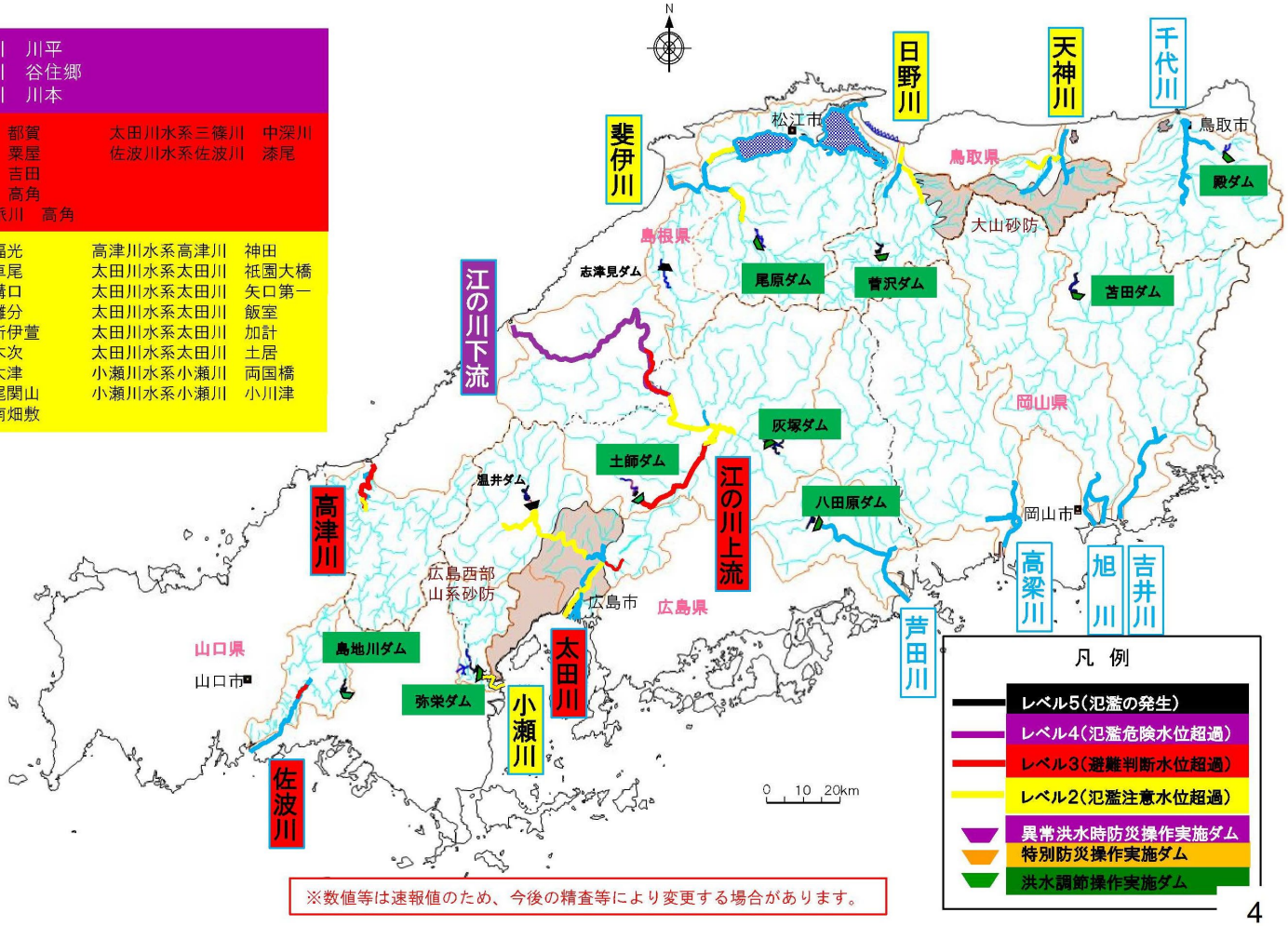
国管理河川の状況

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局

■今回の出水では国管理河川において１水系１河川３観測所で「氾濫危険水位」を超過、４水系５河川７観測所で「避難判断水位」を超過、７水系８河川１７観測所で「氾濫注意水位」を超過しました。

■河川出水状況（国管理区間）

★レベル４ 氾濫危険水位超過 １水系１河川 ３観測所	江の川水系江の川　川平 江の川水系江の川　谷住郷 江の川水系江の川　川本	
★レベル３ 避難判断水位超過 ４水系５河川 ７観測所	江の川水系江の川　都賀 江の川水系江の川　粟屋 江の川水系江の川　吉田 高津川水系高津川　高角 高津川水系高津川派川　高角	太田川水系三篠川　中深川 佐波川水系佐波川　漆尾
★レベル２ 氾濫注意水位超過 ７水系８河川 １７観測所	天神川水系国府川　福光 日野川水系日野川　車尾 日野川水系日野川　溝口 斐伊川水系斐伊川　灘分 斐伊川水系斐伊川　新伊萱 斐伊川水系斐伊川　木次 江の川水系江の川　大津 江の川水系江の川　尾関山 江の川水系馬洗川　南畑敷	高津川水系高津川　神田 太田川水系太田川　祇園大橋 太田川水系太田川　矢口第一 太田川水系太田川　飯室 太田川水系太田川　加計 太田川水系太田川　土居 小瀬川水系小瀬川　両国橋 小瀬川水系小瀬川　小川津



※数値等は速報値のため、今後の精査等により変更する場合があります。

4

出典：令和6年11月1日から11月2日にかけての大雨 中国地方整備局管内の出水概況【第2報】

④令和6年度に発生した全国の水害

令和6年9月能登半島豪雨（石川県）

■ **線状降水帯**などの影響により、能登半島を中心に記録的な大雨となり、**日最大1時間降水量は輪島で121mm、珠洲で84.5mm、月最大24時間降水量は輪島で412mm、珠洲で315mm**を観測し、広い範囲で**土砂災害**が発生、**多くの集落が孤立した。**

②地すべり（石川県輪島市町野町）

③土石流等（石川県珠洲市大谷町）

出典：令和6年9月20日からの豪雨による災害発生から1ヵ月の北陸地方整備局の取組

（２）令和６年度のタイムライン改善状況

令和６年度振返りアンケート結果　まとめ　1/3

①タイムラインの運用について

項目	アンケート結果	今後の方針
タイムラインの理解促進・引き継ぎ	タイムラインの理解促進・引継ぎに効果的だった取組として、「**出水期に向けた検討会**」と「**タイムラインの解説動画**」が多く挙げられた。	タイムラインに対する理解度を向上させる取組を、**次年度以降も継続的に実施**する。
タイムライン発動メールの活用状況	**タイムライン発動メール**を確認した機関は、どの出水においても**９割程度**と、**すべての機関が確認できていなかった**。また、メールの内容は、主に体制確立や防災行動のきっかけとして活用された。	タイムライン発動メールを、**次年度以降も継続的に運用**する。

令和６年度振返りアンケート結果　まとめ　2/3

②防災行動について

項目	アンケート結果	今後の方針
出水対応の課題	**予測が困難となる台風・突発的な豪雨への対応**や、**非出水期における出水期同様の備え**が挙げられた。	次年度以降も**異常気象を前提**、**各機関での備え**や円滑な対応に向けた**タイムラインの活用**を継続する。
タイムラインの活用状況	タイムラインを活用した機関は、**約6割**となった。 活用しなかった理由としては、**大きな出水ではなかったこと**や**自機関の計画等による対応**、**他システムでの対応**が挙げられた。	円滑な出水対応に向けてタイムラインを有効活用するために、出水期前検討会や読み合わせ訓練による、**タイムラインの活用方法の理解促進**を継続する。
自治体版タイムライン	自治体版タイムラインを作成済の自治体は、約6割にとどまった。また、6自治体が勉強会の開催を希望した。	さらなる自治体版タイムラインの作成促進のため、**勉強会を開催**する。

令和６年度振返りアンケート結果　まとめ　3/3

③防災情報、防災行動の共有

□: 振り返り検討会で意見交換

項目	アンケート結果	今後の方針
システム利用状況	マルチ画面・リンク集・防災行動共有システムの活用率は、**1～4割程度**となった。	ポータルサイトの各種機能や活用方法の周知・訓練のため、ウェビナーやシステム操作演習を**次年度以降も継続的に実施**する。
防災行動共有システム（図形式）の改善点	自治体や災害事象の**枠色の判定基準**が分かりにくいといった意見が一部挙げられた。	**改善案について議論**し、わかりやすい表示を目指して改良する。
情報・防災行動の共有の必要性	メールマークがある防災行動項目に関する情報共有の必要性は、**わからないとの回答が約5割**となった。	現在の**メールマークの意図・経緯を説明**するとともに、**共有すべき情報・行動を精査**する。

令和６年度　振返り検討会における意見交換結果
意見交換の概要

■ 本年度の出水概要や振り返りアンケートを踏まえ、以下の２つのテーマで意見交換を実施

テーマ	振り返りの方法
１．共有すべき情報・行動の精査	✓ 防災行動項目にメールマークの経緯や意義を説明 ✓ 各機関でタイムライン詳細版の**共有すべき情報・行動（メールマーク）を再確認**し、改めて共有すべきか否かを検討 ✓ 上の結果を全体で共有
２．防災行動共有システムの改善の方向性について	✓ 読み合わせ訓練意見交換シートや、振り返りアンケート結果から関連する回答内容を説明 ✓ アンケート回答者に補足していただきながら、**参加者全体で防災行動共有システムの改善の方向性**について議論

①共有すべき情報・行動の精査

②防災行動共有システムの改善の方向性（意見交換）

令和６年度　振返り検討会における意見交換結果
①共有すべき情報・行動の精査

■ 各機関の確認結果から「共有すべき情報・行動」として**13種類の情報・行動**が挙げられた

共有すべき情報・行動の確認結果	主な意見
• 各機関の確認結果から共有すべき情報・行動として挙げられた項目と、**その項目を挙げた機関数**を以下に示す ① タイムラインレベル、今後の方針（7機関） ② 災害対策本部等の設置（2機関） ③ ダム放流情報（2機関） ④ 内水氾濫発生状況（4機関） ⑤ 堤防決壊、氾濫情報（4機関） ⑥ 指定避難所の開設（2機関） ⑦ 住民への注意喚起、避難情報（2機関） ⑧ 道路冠水状況、道路規制情報（5機関） ⑨ 鉄道の運行停止情報（2機関） ⑩ バス運休・復旧情報（1機関） ⑪ 地下街閉店情報、営業中止情報（1機関） ⑫ 停電状況（1機関） ⑬ 自衛隊派遣要請（1機関）	• 項目が多いため、**必要な情報の集約化・絞り込み**が必要 • 共有すべき情報が多く、システムを操作しながら、逐次多量の情報を確認することは困難であるため、**情報の絞り込みには賛成** • 鉄道やバス等の**公共交通機関の情報**をメールで共有してもらえるとありがたい • **重要な項目は印**があるとわかりやすい

令和６年度　振返り検討会における意見交換結果
②防災行動共有システムの改善の方向性

■ さらに防災行動行動共有システムの**改善の方向性**について意見交換

主な意見
• 表形式の項目が多いため、絞り込みが必要 • 安易に項目を削るのではなく、**項目はそのまま残しておいて、入力等が必要な重要項目を絞り込む**のがよい • 図形式について、**背景の色と注意報や危険度分布等の色が被っている**ため、改善が必要 • 気象情報等の自動で更新される情報と、**避難指示等の自治体が入力する情報が混在しているため分けて表示**されるとよい

防災行動共有システム表形式

- 共有すべき情報・行動に絞り込んだ上で防災行動の登録を促す機能を構築

防災行動共有システム図形式

- 背景色の変更
- 避難情報に該当するレベル3，4の色枠を点滅表示
- カーソルをあてることで枠の色の解説を表示

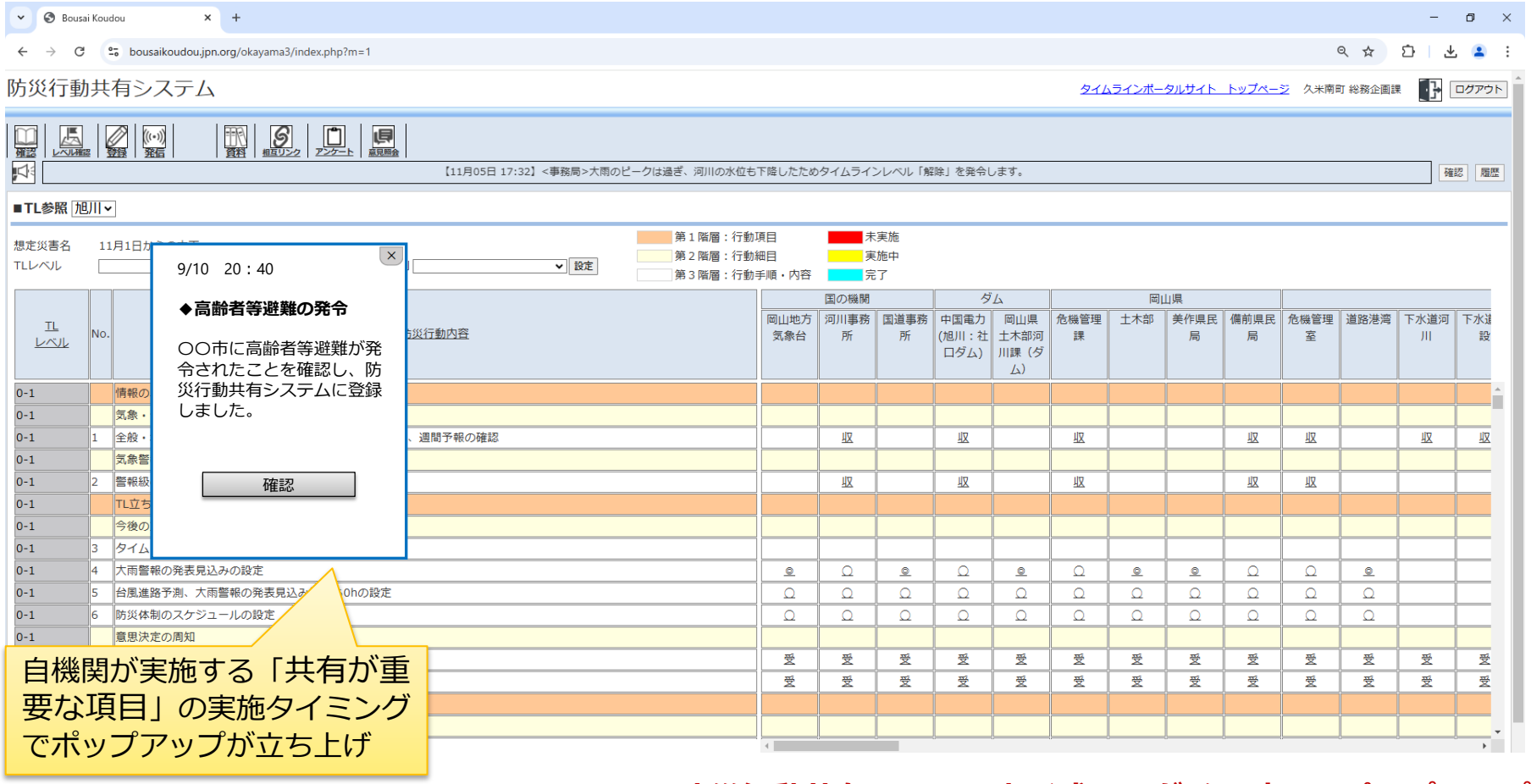
防災行動共有システムの改善案
表形式の改善案

■ 「共有すべき情報・行動」のうち、**逃げ遅れゼロ**、**経済被害の最小化**の観点からタイムラインの取組として共有が重要な項目を**8種類**を選定

ﾒｰﾙﾏｰｸが付いた行動項目　18種類	前回検討会　絞込み 13種類	さらに事務局で絞り込み（事務局案） 8種類	
①タイムラインレベル、今後の方針	○	○	タイムラインの運用の基本となる情報のため
②災害対策本部等の設置	○	○	市町村への支援や助言に関する情報のため
③ダム放流通知	○	○	逃げ遅れへの対処に必要な情報のため
④内水氾濫発生状況	○	○	
⑤堤防決壊、氾濫情報	○	○	
⑥指定避難所の開設	○	○	避難情報の発令への助言に係る情報のため
⑦住民への注意喚起、避難情報	○	○	
⑧道路冠水状況、道路規制情報	○	○	迅速な復旧活動に係る情報のため
⑨鉄道の運行停止情報	○		既存の伝達方法で共有されていると想定されるため
⑩バスの運行停止情報	○		
⑪地下街閉店情報、営業中止情報	○		
⑫停電状況	○		
⑬自衛隊派遣要請	○		
⑭報道機関の情報			
⑮物資支給場所、内容に関する情報			
⑯LPガス充填所等への注意喚起			
⑰関係機関への応援要請			
⑱緊急対応状況			
行動項目数※：70個	49個	29個	※旭川水害タイムラインの例

防災行動共有システムの改善案
表形式の改善案

■ 防災行動項目の**登録手間の削減**や、**重要防災行動の実施・共有漏れを防ぐ**ため、ポップアップによる**登録喚起機能**を構築する。（事務局提案）



※防災行動共有システム表形式にログイン時のみポップアップ

防災行動共有システムの改善案
表形式の改善案

■ 注意喚起機能は、防災行動共有システム（表形式）に**ログインした場合に機能**し、**タイムラインレベルの移行**や**該当行動項目情報の受信**によってポップアップを表示する。

9/10　20：40

◆道路冠水状況、道路規制情報

タイムラインレベル３になりました。道路冠水を確認した場合や道路規制を実施している場合は、防災行動共有システムに登録をお願いします。

実施済

実施しない

テロップ登録

枠色を点滅させるなど、目立つ工夫も実施予定

本システムで該当情報を受信できないため、タイムラインレベルの移行により赤枠ポップアップ

9/10　20：40

◆高齢者等避難の発令

〇〇市に高齢者等避難が発令されたことを確認し、防災行動共有システムに登録しました。

確認

本システムで該当情報が受信できるため、受信したタイミングで青枠ポップアップ（確認のみ）

共有すべき情報・行動
①タイムラインレベル、今後の方針
②災害対策本部等の設置
③ダム放流通知
④内水氾濫発生状況
⑤堤防決壊、氾濫情報
⑥指定避難所の開設
⑦住民への注意喚起、避難情報
⑧道路冠水状況、道路規制情報

タイムラインレベルの移行により赤枠のポップアップが表示

他システムへの登録情報により青枠のポップアップが表示

- ✓ **ポップアップの実施登録により、防災行動共有システムへの登録が完了**
- ✓ **ポップアップのテロップ登録により、テロップに例文が自動表示され、修文のうえで登録が完了**

防災行動共有システムの改善案
表形式の改善案

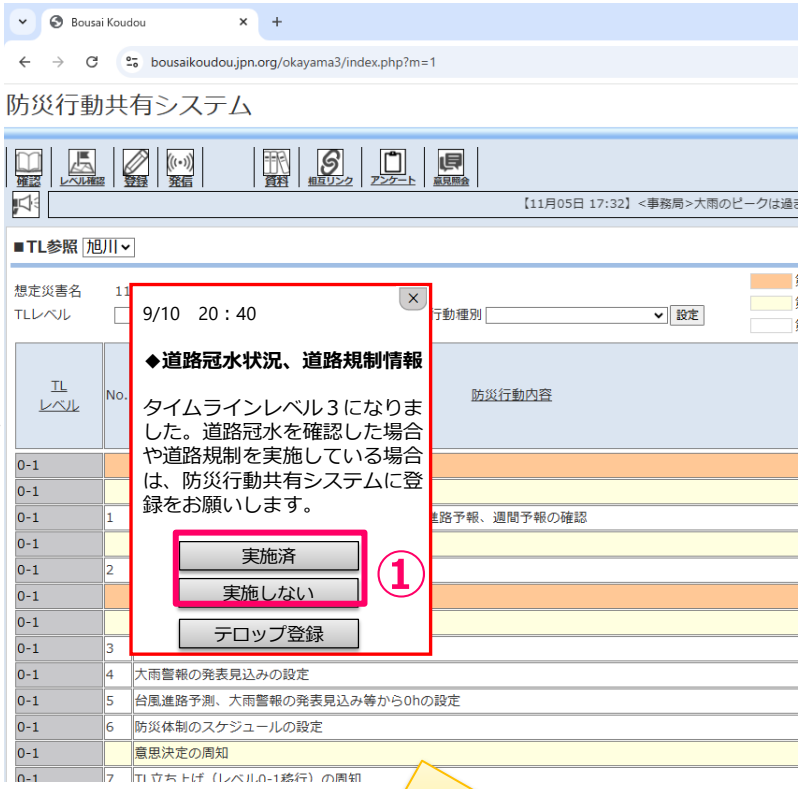
システム画面で説明

■ 注意喚起機能により、防災行動共有システム（表形式）に防災行動の実施状況を「登録」する作業が減される

現在

４つのシステム操作が必要

改善後

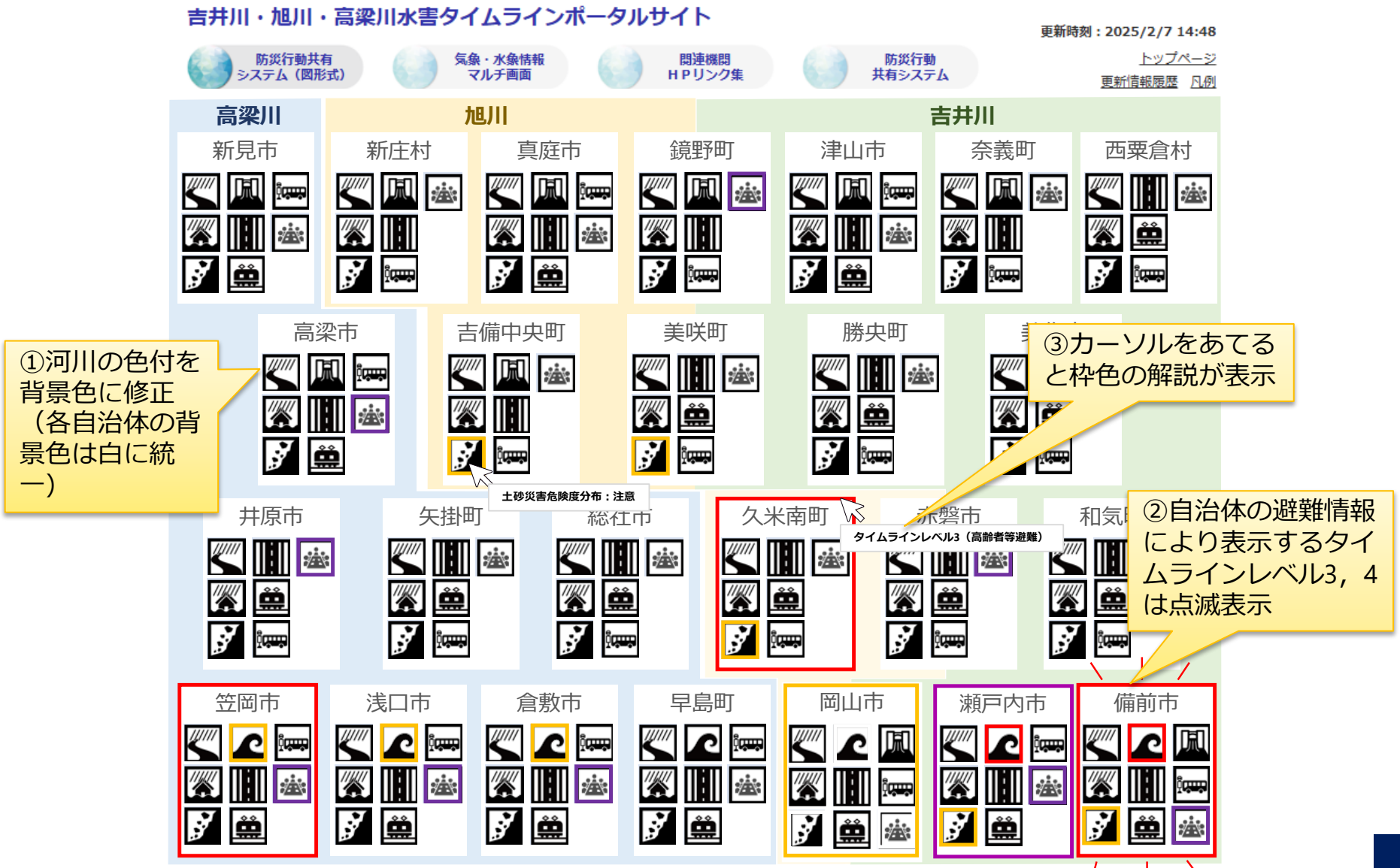


1つの操作で登録完了

防災行動共有システムの改善案
図形式の改善案

システム画面で説明

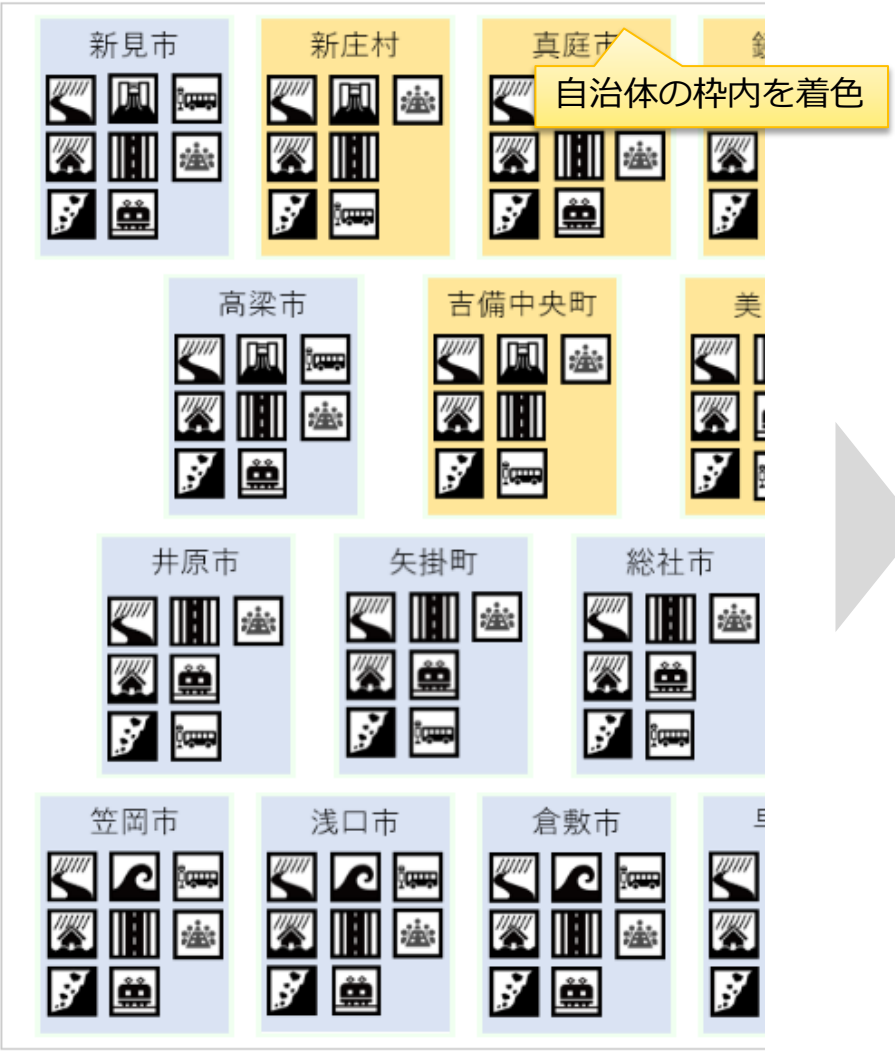
■ 以下の3点を改良し、図形式の見やすさを改善（詳細は次頁以降）



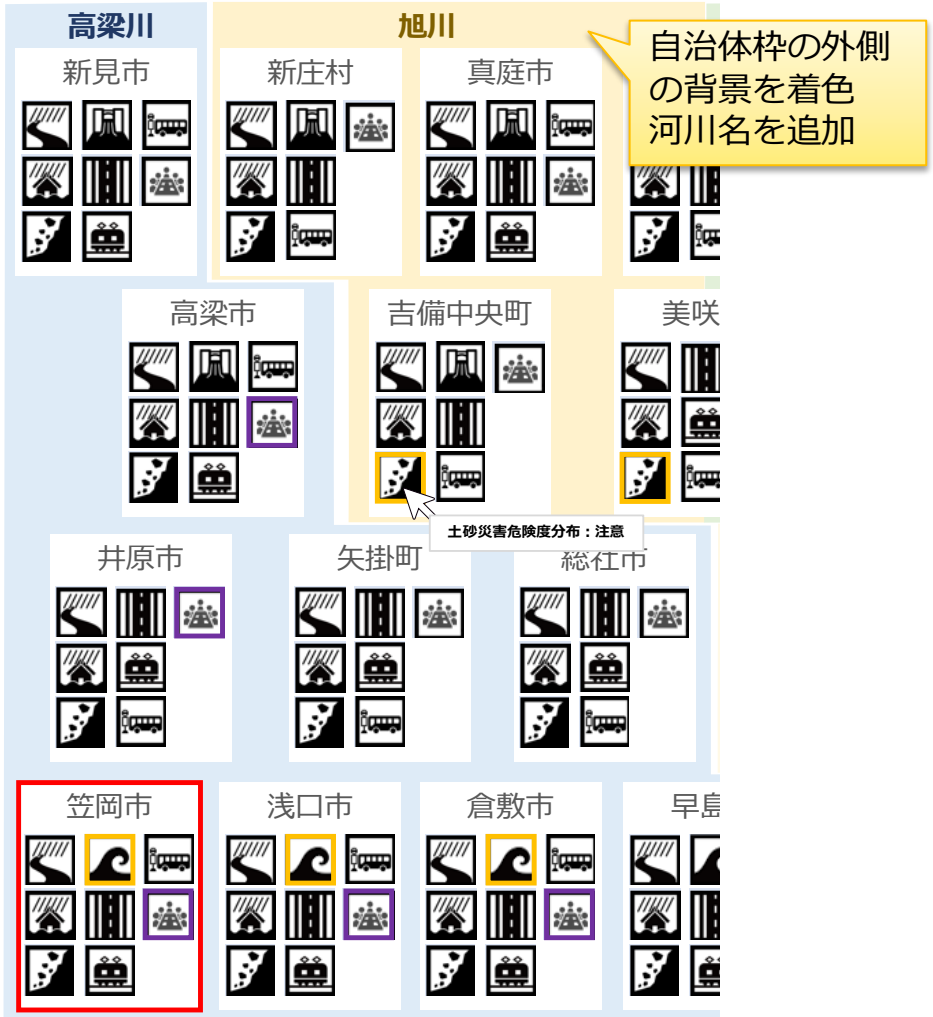
防災行動共有システムの改善案
図形式の改善案

①河川の色付を背景色に修正（各自治体の背景色は白に統一）

現在



改善案



防災行動共有システムの改善案
図形式の改善案

②自治体の避難情報により表示するタイムラインレベル3，4は点滅表示

現在

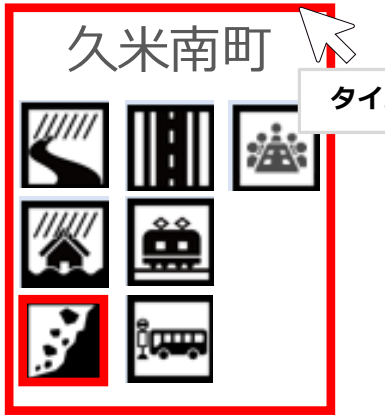
改善案

自治体の避難情報により表示する枠色レベル3，4は点滅表示

③カーソルをあてると枠色の解説が表示

現在

改善案



枠にカーソルをあてると、なぜ色がついているのかが表示

タイムラインレベル3（高齢者等避難）

防災行動共有システム　改善スケジュール

- 防災行動共有システムの**図形式**、**表形式（赤枠）**は**出水期から試行運用**
- 防災行動共有システムの**表形式（青枠）**は、**台風期から試行運用**（試行運用前は既存の機能により共有）

改善内容		出水期前（4～6月上旬）	出水期（6月中旬～10月上旬）		出水期後
			6月中旬～8月上旬	台風期（8月中旬～10月上旬）	（10月中旬～）
図形式（表現の改善）		検討会 構築	試行運用		検討会　検討会 振り返り・改善
表形式（ﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟ）	赤枠	構築	試行運用		振り返り・改善
	青枠	構築	※既存の登録機能、発信機能を基に防災行動共有システムへ登録	試行運用	振り返り・改善

４．令和７年度出水期の運用に向けて
タイムラインの運用上の留意点と対応

（１）連携行動フローに基づく情報共有の重要性の確認

別紙　連携行動フローを用いて説明

（２）タイムラインの運用上の留意点と対応

①タイムラインと既存計画との関係性・留意点

■ 現在の多機関連携型タイムラインは、**<u>各機関の既存計画から、多機関が係る防災行動を中心に抜粋</u>**したものとなっている。

■ タイムラインに記載がある他機関の防災行動項目や、出水時に情報共有されるタイムラインレベルや他機関からの情報提供を把握することで、**<u>各機関は既存計画に則った出水対応を円滑に行うことが可能</u>**。

地域防災計画・防災計画とタイムラインとの関係

留意点

タイムラインで整理されている防災行動項目や実施のタイミングは、**各機関の防災マニュアル等に記載されている内容と整合を図る**必要があります。

計画やマニュアルを見直した場合は、タイムラインとの整合を確認し事務局に報告をお願いします。

②タイムラインの立上げ

- タイムライン立上げは水系全体としての判断となるため**事務局が意思決定**し、**吉井川・高梁川は岡山河川事務所**、**旭川は岡山市**が**メーリングリストにより通知**する。
- メーリングリストのアドレスは、以下に示す通り。

取り扱い注意

- 高梁川水害タイムライン　メーリングリスト
  takahashigawa-timeline-ml@cgr.mlit.go.jp
- 旭川水害タイムライン　メーリングリスト
  asahigawa-timeline-ml@cgr.mlit.go.jp
- 吉井川水害タイムライン　メーリングリスト
  yoshiigawa-timeline-ml@cgr.mlit.go.jp

担当者やメールアドレスが変更となった場合は、岡山河川事務所まで連絡をお願いします。

メール（イメージ）

高梁川水害タイムライン　検討会メンバー　各位

5月20日に実施した事務局会議の結果を共有します。

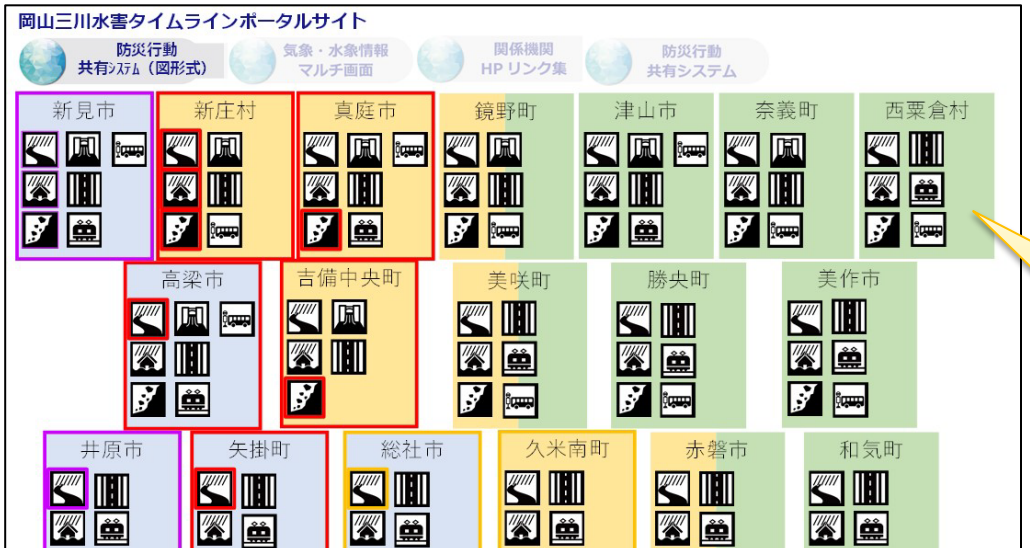
■今後の気象情報
岡山地方気象台の情報によれば、岡山県北部に、大雨で早期注意情報（警報級の可能性）が、本日20日の夜から明日21日の夜遅くまでの間で「中」となっています。

■タイムラインレベル
今後の気象情報を確認する必要があるため、タイムラインレベル「0-1」を発令します。

各機関におかれましては行動手順・内容について確認いただきますとともに、今後の土砂災害や河川の増水、落雷に注意してください。

③タイムラインレベルの移行

- レベル１以降は**自治体ごとにレベルの時差**が生じるため、発表される**警戒レベル相当情報やホットライン等の助言**を踏まえ**各自治体が意思決定**する。
- **各自治体のタイムラインレベル相当**の状況は、**防災行動共有システム（図形式）で確認可能（自動反映）**
- 岡山河川事務所からは**直轄河川の状況に応じてレベル移行メールを通知**予定。



自治体の枠色で
タイムラインレベル相当
が表示

アイコンなど		レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
		グレー枠	白枠	黄色枠	赤枠	紫枠	黒枠
各自治体枠：ﾀｲﾑﾗｲﾝﾚﾍﾞﾙ	枠判定	ﾀｲﾑﾗｲﾝ発動操作	早期注意情報	洪水注意報	警戒ﾚﾍﾞﾙ3高齢者等避難	警戒ﾚﾍﾞﾙ4避難指示	大雨特別警報or洪水・大雨危険度分布災害切迫
	ｸﾘｯｸ	各自治体のホームページ（緊急情報）へにアップした危険度分布（洪水害）にリンク					

④タイムライン防災行動項目の確認

■ 出水対応に向けて、タイムライン解説動画を活用しタイムラインレベルの状況や防災行動の全体像を把握しながら、自機関の防災行動を確認してください。

タイムライン解説動画【訓練編】

タイムラインレベル毎の状況や防災行動の全体像を確認いただく場面、タイムラインレベル毎の状況をイメージしながら実践的な訓練を実施いただく場面でご活用いただけます。

- **タイムラインレベル0-1～0-2**
- **タイムラインレベル1～2**
- **タイムラインレベル3～5**

https://youtu.be/i-8S--Kew-Q

タイムラインレベル0-1（3日前準備）
行動の全体像

グループ	主な対応	目標
国・県・市等防災機関	災害対策本部等の設置準備（会議室確保、連絡網の用意）	体制確保の準備
住民避難、救助・救出	指定避難所開設の状況確認（施設の安全性等の確認、物資・人員の確認）	住民避難対応の準備
河川・ダム・道路	水防活動の準備、ダム操作の準備、樋門・排水・取水ゲート・陸閘操作の準備、道路通行止めの準備	体制確保の準備
ライフライン（電気、通信、ガス）	情報共有、重要施設の浸水防災対策の実施	体制確保の
公共交通	施設巡回・警備、現地状況の確認	施設
地下街	水防活動の準備	体制 水防
報道	報道体制の準備	体制 住民
自主防災	水防資機材の確認、土のう配布	自主

1:33 / 3:11 ・ タイムラインレベル0-1（3日前準備）

役割の例

①動画でタイムラインレベル毎の状況や防災行動の全体像を確認

対応行動	行動細目（第2階層）	ハザード	No	行動手順・内容（第3階層）	岡山地方気象台	岡山河川事務所	岡山県						岡山市															役割	
							高梁川流域ダム管理課	危機管理課	土木部	美作県民局	備前県民局	危機管理室	道路港湾	下水道河川	下水道施設	農村整備	東区役所	消防局企画	消防局警防	津山市	備前市	瀬戸内市	赤磐市	美作市	和気町	鏡野町	勝央町
	気象・台風情報の収集 【継続】	共通	1	□ 全般・地方・府県気象情報、台風情報、台風5日進路予報、洪水予報の確認		収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収	収
	気象警報・注意報情報の収集 【継続】	共通	2	□ 早期注意情報（警報級の可能性）の確認		収	収	収				収					収			収	収	収	収	収	収	収	収
レベル1移	岡山県、岡山地方気象台、岡山河川事務所による今後の方針の決定	共通	3	□ タイムラインの立上げ協議（レベル0（3日前準備））	◎	◎			◎	◎																	
		共通	4	□ 台風進路予測、早期注意情報等からOhの設定	◎	◎			◎	◎																	
		共通	5	□ 防災体制のスケジュールの設定	◎	◎			◎	◎																	
	意思決定の周知	共通	6	□ タイムライン立ち上げ（レベル0（3日前準備））の周知	受	発	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受
		共通	7	□ 今後の方針の周知	受	発	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受	受
準備	災害対策本部等の設置準備	共通	8	□ 会議室の確保								◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		共通	9	□ 連絡網の用意								◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		共通	10	□ 本部設置の事前周知								◎								◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	資機材の準備	共通	11	□ 水防資機材の確認		◎			○	◎	◎			○			◎			○	○	○	○	○	○	○	○
	体制の構築準備	共通	12	□ 課員の動員体制の確認					◎		◎						◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		共通	13	□ 県民局から市町村への注意喚起（文書送付）					○	◎	◎																
	希望市民への土のう配布	共通	14	□ 人員の確保						◎										◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		共通	15	□ 土のう・資機材の準備																◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		共通	16	□ 土のうの配布																◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
対応																				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

②該当するタイムラインレベルにおける自機関の防災行動を中心に確認

⑤共有すべき情報・行動の情報共有

- **特に共有すべき情報・行動**として選定した**８種類の防災行動項目**について、**防災行動共有システム表形式**を用いた**実施状況の登録とテロップでの情報共有**をお願いします。
- **システム改修前**は、**既存の登録機能、発信機能を用いた情報共有**をお願いします。

共有すべき情報・行動
①タイムラインレベル、今後の方針
②災害対策本部等の設置
③ダム放流通知
④内水氾濫発生状況
⑤堤防決壊、氾濫情報
⑥指定避難所の開設
⑦住民への注意喚起、避難情報
⑧道路冠水状況、道路規制情報

タイムラインレベルの移行により
赤枠のポップアップが表示

他システムへの登録情報により
青枠のポップアップが表示

防災行動共有システム　改善スケジュール

<table>
<tr><th rowspan="2" colspan="2">改善内容</th><th rowspan="2">出水期前
（4～6月上旬）</th><th colspan="2">出水期
（6月中旬～10月上旬）</th><th rowspan="2">出水期後</th></tr>
<tr><th>6月中旬～8月上旬</th><th>台風期
（8月中旬～10月上旬）</th></tr>
<tr><td colspan="2">図形式
（表現の改善）</td><td>検討会
構築</td><td colspan="2">試行運用</td><td>検討会　検討会
振り返り・改善</td></tr>
<tr><td rowspan="2">表形式
（ﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟ）</td><td>赤枠</td><td>構築</td><td colspan="2">試行運用</td><td>振り返り・改善</td></tr>
<tr><td>青枠</td><td colspan="2">構築
※既存の登録機能、
発信機能を基に
防災行動共有システムへ登録</td><td>試行運用</td><td>振り返り・改善</td></tr>
</table>

⑥出水対応における課題・改善点の記録

■ 振返り検討会において、**出水対応における課題・改善点を議論**を予定

⇒**出水対応状況（課題や改善点）の記録**をお願いします。

（出水期後にアンケートを実施予定）

Ⅱ．8 月 12 日からの大雨における出水対応についてお伺いします。

●設問Ⅱ-1：タイムラインに沿って防災行動項目を実施されましたか？該当する方を選択（チェック）してください。また、実施できなかった場合はその理由について、選択（チェック）してください。

レベル	回答欄
0-1 0-2	□実施できた　□実施できなかった 実施できなかった理由（課題） □ 出水状況から当該レベルの防災行動を行うには至らなかった。 □ タイムライン上の防災行動項目のタイミングが適切ではなかった。 □ その他（　　）
1	□実施できた　□実施できなかった 実施できなかった理由（課題） □ 出水状況から当該レベルの防災行動を行うには至らなかった。 □ タイムライン上の防災行動項目のタイミングが適切ではなかった。 □ その他（　　）
2	□実施できた　□実施できなかった 実施できなかった理由（課題） □ 出水状況から当該レベルの防災行動を行うには至らなかった。 □ タイムライン上の防災行動項目のタイミングが適切ではなかった。 □ その他（　　）
3	□実施できた　□実施できなかった 実施できなかった理由（課題） □ 出水状況から当該レベルの防災行動を行うには至らなかった。 □ タイムライン上の防災行動項目のタイミングが適切ではなかった。 □ その他（　　）
4	□実施できた　□実施できなかった 実施できなかった理由（課題） □ 出水状況から当該レベルの防災行動を行うには至らなかった。 □ タイムライン上の防災行動項目のタイミングが適切ではなかった。 □ その他（　　）

●設問Ⅱ-2：タイムラインに基づき、情報の受信・発信を行いましたか？発信できなかった場合はその理由をお聞かせください。

レベル	回答欄
0-1 0-2	□できた　□できなかった できなかった理由（課題）
1	□できた　□できなかった できなかった理由（課題）
2	□できた　□できなかった できなかった理由（課題）
3	□できた　□できなかった できなかった理由（課題）
4	□できた　□できなかった できなかった理由（課題）

Ⅲ．自由意見（タイムラインの課題、改善策等）

～アンケートにご協力ありがとうございました～

出水対応に対するアンケート（令和3年度の例）

まとめ

①タイムラインと既存計画との関係性・留意点

- ✓ タイムラインと既存計画との**内容やタイミングの整合を確認**してください。

②タイムラインの立上げ

- ✓ メールが受信できるよう、**担当者や宛先が変わっていないか確認**してください。

③タイムラインレベルの移行

- ✓ **タイムラインレベル移行状況の把握方法（メールや防災行動共有システム）を確認**してください。

④タイムライン行動項目の確認

- ✓ **各機関でタイムラインの防災行動項目を確認**してください。

⑤共有すべき情報・行動の情報共有

- ✓ **防災行動共有システムを用いて共有**してください

⑥出水対応における課題・改善点の記録

- ✓ 出水対応中に把握した**課題・改善点は記録**してください。

５．連絡事項

ウェビナーの開催

- 出水期前検討会に加えて、タイムラインポータルサイトの操作方法の説明や、質疑応答を行うウェビナーを複数日開催を予定。

開催日：6月下旬～7月上旬

Web × Seminar

ウェブ　　セミナー

説明

質問

セミナーをオンライン会議システム等で配信

ウェブからセミナーに参加

今後の予定

- 本検討会を踏まえ、各機関において**令和７年度出水期に向けた備え**をお願いします。**担当者が異動**、また、**連絡先が変更になる場合**は、**岡山河川事務所までご連絡**をお願いします。

６．講評